

【特集】三陸への貢献をめざす北里の取り組み

# 海の恵みを、復興の力に

2011年3月11日の東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県の三陸沿岸。

この地に北里大学は震災前まで海洋生命科学部のメインキャンパスを置き、現在も学部附属の施設を整備して、海洋環境や生物に関する多彩な研究・教育を進める重要な拠点にしている。

震災から6年が過ぎた今、復興に向けた多くの取り組みにより、暮らしや社会は着実に活力を取り戻しつつある。

三陸とともに歩んできた北里が、地域のさらなる振興と発展のために、どんな貢献ができるのか。

地元と手をたずさえながら進める多彩な活動を紹介していく。



## C O N T E N T S

- 02 **【特集】三陸への貢献をめざす北里の取り組み**  
海の恵みを、復興の力に
- 16 **北里逍遙**  
三陸臨海教育研究センター
- 18 **未来のトビラ - 1 -**最先端の研究現場から  
多様な生命を育む  
浅瀬や干潟の素顔を明らかにする  
北里大学海洋生命科学部教授  
朝日田 卓
- 20 **未来のトビラ - 2 -**最先端の研究現場から  
放射線学のエキスパートとして、  
獣医療の進歩と福島復興を支える  
北里大学獣医学部 獣医学科 教授  
夏堀 雅宏
- 22 **これ我が学問なり**  
フジツボの不思議に魅せられ、  
その生態の解明をライフワークに  
北里大学名誉教授 元北里大学海洋生命科学部 教授  
加戸 隆介
- 24 **北里 DNA** -北里の遺伝子を継ぐ者たち-  
「3・12」から立ち上がった故郷に、  
明るい未来図を描きたい  
長野県栄村役場健康支援課健康増進係  
樋口 祐介
- 26 **キタサトピックス**
- 27 **柴三郎のキセキ**  
時代を隔てた大震災にて、  
共に生きる実学の実想